

清須市地球温暖化対策実行計画（事務事業編） 令和 6 年度実施状況報告

1 計画概要

本市が行う全ての事務事業について、2030（令和 12）年度までに、温室効果ガス排出量を 2013（平成 25）年度比で 46%削減を目標とし、温室効果ガス排出量の削減に向けた取組を実施する。

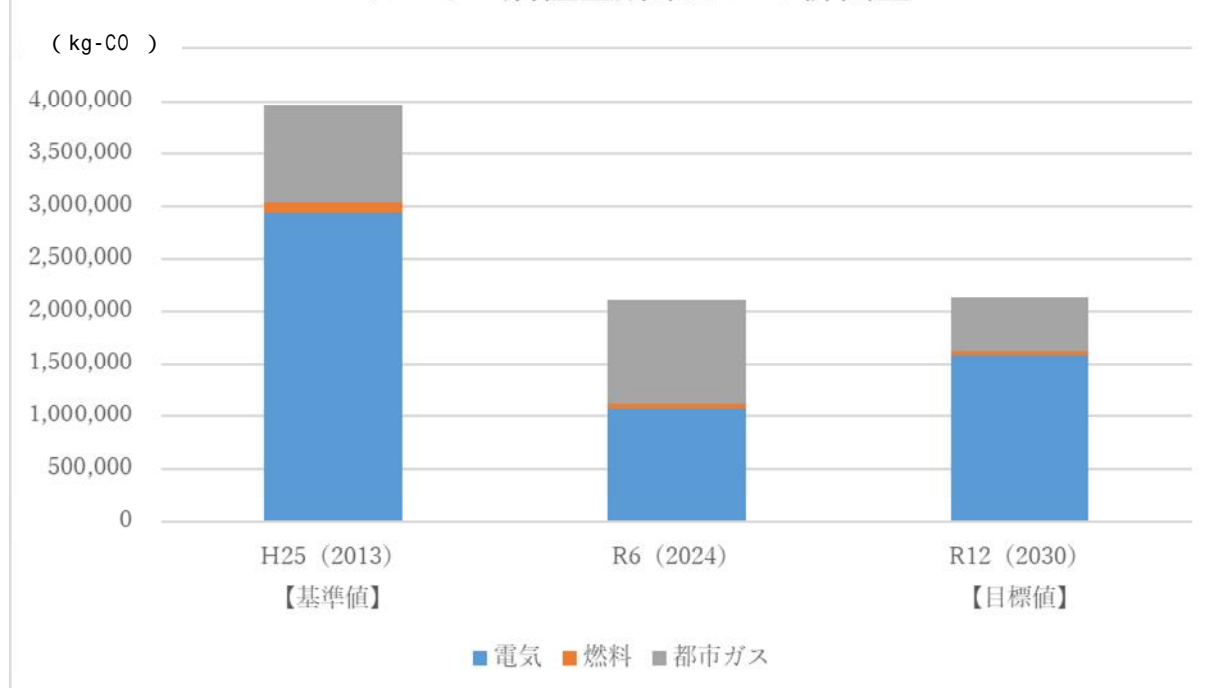
2 温室効果ガス排出状況

令和 6 年度の温室効果ガス総排出量は、基準年度と比べて 46.8%減少した。温室効果ガス排出量の削減に向けた取組を引続き実行していく。

エネルギー別温室効果ガスの排出量

項目	基準年度 2013（平成 25）年度	実績 2022（令和 6）年度	削減率 基準年度比	目標削減率 基準年度比
温室効果ガス 総排出量（kg-CO ₂ ）	3,952,826	2,103,230	-46.8%	-46.0%
電気（kg-CO ₂ ）	2,933,725	1,065,461	-63.7%	-45.0%
燃料（kg-CO ₂ ）	99,920	47,690	-52.3%	-60.0%
都市ガス（kg-CO ₂ ）	919,181	990,078	+ 7.7%	-44.5%

エネルギー別温室効果ガスの排出量



3 主な取組内容

省エネルギーの推進

・街路灯の新規設置、更新時には、省エネルギータイプ（LED 照明）を設置した。

省資源の推進

・枇杷島陸橋工事、枇杷島停車場線道路工事で建設廃棄物の排出抑制、リサイクルを推進した。

・各都市公園及び児童遊園等の水栓を節水栓に随時交換した。

・生涯学習施設及びスポーツ施設の空き状況の照会から利用申請、オンライン決済（一部施設を除く）がインターネット上から行えるシステムを構築しペーパーレスを推進した。

・待機電力については、業務終了後に OA 機器や電気製品の電源を切ることによって電力の削減に努めた。

4 増減要因等

令和 6 年度の温室効果ガス総排出量は、基準年度に比べて 46.8% 減少した。

排出係数の低い電力の使用を検討したことにより令和 6 年度は目標削減率を達成することができた。

電気自動車の購入等を逐次勧めていくことで燃料使用による温室効果ガスが減少している。

公共施設の LED 化を逐次進めていくことにより今後における電気使用量の低下が見込まれる。

5 評価及び今後の取組

電気自動車の導入、LED 照明の導入等、計画の取組を引続き実行していく。また、再生可能エネルギー設備の導入、排出係数の低い電力の使用等を推進することにより、目標設定に向け、さらなる温室効果ガス排出量の削減に努める。